

外環の都市計画事業の承認・認可に係る事業者からの説明の会

<結果概要>

- 1 日 時 平成26年 7 月 15 日（火曜日） 19:00～21:00
- 2 場 所 吉祥寺南町コミュニティセンター 地下多目的ホール
- 3 主 催 武蔵野市
- 4 事業者 国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所、東日本高速道路（株）関東支社東京外環工事事務所、中日本高速道路（株）東京支社東京工事事務所
- 5 参加者 57名
- 6 主な内容について
 - (1) 事業者からの事業概要等説明
 - ① 東京外かく環状道路（関越～東名）の概要について
 - ② 都市計画事業の承認及び認可の告示について
 - ③ 都市計画法第65条（建築等の制限）の適用について
 - ④ 本線トンネル工事に伴う家屋調査について
 - (2) 質疑回答
 - ① 家屋調査
 - 調査範囲について
→ 調査範囲の図面は、概略である。実際に調査するお宅には個別に周知する。その前に知りたい場合は、事業者に連絡をいただければ確認する。
 - 45° を基準とした調査範囲の根拠について
→ 日本トンネル技術協会の学術的な知見に基づいた技術書によるものである。
 - 調査内容について
→ 万が一、工事による影響があった場合に備えて、本線トンネル工事着手の前に家屋の状態の調査をする。住民から家屋の損傷の申し出があった場合、工事後にも同様の調査を実施し、家屋の柱が傾斜したり基礎にひび割れが発生したかなどの確認を行う。工事着手前と工事完了後の調査結果により、事業者にて工事に起因する損傷と判断した場合には、柱を元の状態に戻したり、修繕するための費用を補償をする。
 - 調査会社について
→ 専門の調査会社を実施する予定。
 - ② 土地の取得について
→ 外環本線に関しては、武蔵野市は大深度区間となるため、土地を取得することはない。

③ 工事による影響・開通後の影響

● 振動について

→ 自動車の走行における振動については、環境影響評価で予測・評価している。類似事例としては、現在供用中の首都高速道路湾岸線等があげられ、1.5m～6.0mの土被りのトンネルにおいて、地表面の振動は約40デシベル以下という調査結果が出ている。40～50デシベルは、人体には感じず地震計で記録されるような程度の振動である。武蔵野市では、全区間が41mより深い大深度部分なので影響はないと考えている。

● 地下水

→ 環境影響評価で予測・評価している。予測結果は自然変動による影響より小さい程度であり、事業による影響はないと考えている。なお、適切に事後調査も行っていくこととしており、地下水のモニタリングについては現在も行っている。

● 工事影響による責任の所在について

→ 工事による影響であれば、基本的にはNEXCO（東日本・中日本）が窓口となって対応する。

● 騒音

→ トンネル内を走行する車両の騒音は、トンネル内部を伝って坑口部に伝わると考えている。トンネルの坑口付近など、地上部のJCTやICについては、遮音壁や低騒音舗装などの騒音対策を実施する。

● 低周波音

→ 低周波音については、換気塔のファンの部分や橋梁のジョイント部で発生すると予測され、規模や構造等が類似する新宿御苑トンネル換気所周辺や首都高速湾岸線の有明・辰巳JCTの調査結果と比較して予測している。環境基準がないため、技術書に記載されている参考値を基に評価しており、参考値を満足している。

④ 都市計画法

● 都市計画法第65条の手続き

→ 外環の大深度部のトンネルは、現在の用途地域で定められている高さ制限・建ぺい率・容積率の範囲での建物の荷重を見込んだ耐力を有しているため、一般的な建築物であれば許可されないということはない。ただし、法律の建付上、都市計画法第65条の申請の手続きは必要になるのでご協力いただきたい。

→ また、手続きをスムーズに行うため、事業者への事前相談にご協力いただきたい。なお、他の都市計画が重複している場合は、別途許可等が必要となることもある。

● 立体都市計画について

→ 平成19年度に、高架方式から地下方式への都市計画変更がなされ、武蔵野市部

については、地下に立体的な範囲が定められた。（その際、離隔距離の最小限度及び載荷重の最大限度は定めていない。）その後、平成26年3月に都市計画法に基づき、都市計画事業承認及び認可を頂いた。

⑤ シールド工法の事故事例

→ 一つの事故事例として、倉敷市の水島石油コンビナート内にある海底トンネルでの事故がある。この事故原因については有識者等によるシールドトンネル施工技術安全向上協議会で原因究明中であるが、協議会の「中間とりまとめ」が公表されている。外環のシールドトンネルの設計にあたっては、有識者の意見も聞きながら、この「中間とりまとめ」を踏まえた設計としている。

⑥ シールド工法の類似事例

→ 近隣では、例えば首都高速品川線（工事中）、横浜環状北線（工事中）、アクアライン等がある。

当日開催状況

